

ウクライナ避難民支援の

これまでとこれから

～事例発表と支援者同士の ネットワーキング～



ロシアによるウクライナ侵攻から1年以上が経過し、日本には約2,000人の避難民が暮らしています。日本での避難生活も2年目に入り、避難民や支援者が直面する課題も変化しています。そこで、ウクライナ避難民支援に取り組む支援者団体が一堂に会し、相互の取り組みや経験について情報を交換しながら、これからの支援のあり方についてともに考えましょう。

2023年

7月4日(火)

13:00～17:00

■開催方法 zoom

■参加費 無料

■対象 避難民支援を担当している自治体
大学、NPO、日本語学校等の実務担当者

■定員 300名

■申込みURL

<https://forms.gle/QGjVSSBDK8GGTbbe9>

プログラム

■開会あいさつ（日本財団）

■ウクライナ避難民の受入状況と

「外国人との共生のためのロードマップ」の解説（法務省出入国在留管理庁）

■事例紹介

- ・メロス言語学院（東京都豊島区）
- ・あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク（愛知県名古屋市）
- ・佐賀県国際交流協会（佐賀県）

休憩

■これからの避難民支援に向けて

- ・日本財団による取り組み紹介・質疑

■ネットワーキング（ブレイクアウトルーム）

- ・地域ごとのグループ討議
- ・テーマごとのグループ討議
- ・属性ごとのグループ討議

■振り返り

- ・全体共有
- ・グループ討議の様子を全体で共有
- ・登壇者を交えた意見交換

〈申込みはこちらから〉

